



TOPICS

“地元の野菜はいかが！”



11月7日(土)・8日(日)に、オープンして6カ月になる「ゆめ畑 大野城店」で収穫祭が開かれました。

地産地消を進め、安全な食生活を守ろうと、JA筑紫と地域の100軒ほどの農家が農作物を持ち寄り販売しているもので、収穫祭には新鮮な野菜を求めて多くの皆さんが来店前から列をつくっていました。

会場では、みかんやいりこの詰め放題、農家の皆さん手作りの豚汁を無料で提供するコーナーもあり、収穫の喜びを分かち合った2日間でした。

青年組が行く!! ~北地区で清掃活動~



「それいけ青年組」は高校生以上の18人からなる青年たちのグループで、仲間との交流を深めながら、ジュニアリーダー研修会、子ども会活動のお手伝いや地域活動へ参加しています。

今回は初の試みとして、10月25日(日)に地域の清掃活動を行いました。北コミュニティセンター周辺のごみを拾うことで、地域への愛着がさらに深まりました。

「それいけ青年組」は、今後もいろいろな事に挑戦していく新しい仲間を求めています。あなたも参加してみませんか。

大野城市を「文化力」あふれる都市へ

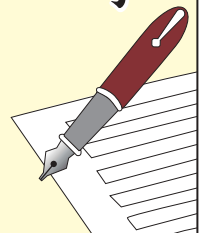


10月24日(土)、まどかぴあ大ホールで、佐藤陽子名誉館長就任記念コンサートが行われました。天才ヴァイオリニストとして有名な佐藤名誉館長の演奏を耳にしようと、多くの市民が客席を埋め尽くしました。

佐藤名誉館長は、パートナーだった池田満寿夫さんがまどかぴあの初代館長に就任したころの思い出を語り、池田さんの愛した曲「ツィゴイネルワイゼン」や、高度な技術を要する曲、だれもが耳にしたことのある人気の曲などを、ヴァイオリンで奏でました。

演奏を通じて、佐藤名誉館長の音楽に対する情熱と大野城市が「文化力」あふれる都市に発展してほしいとの願いを、市民の皆さんへ伝えました。

大文字



11月に入って急に寒くなり、毎日毎日新型インフルエンザによる学級閉鎖の情報が流れてきました。地域でいろんな大会や催しが中止となり、関係者や楽しみにしている人たちにはとても残念な結果となっています。

ところが、わが家では孫たちの運動会が行われ、曾祖母・祖母である私たち夫婦・娘夫婦そして張り切っている孫たち、家族みんなの一大イベントとなりました。かけっこや障害物リレー、メインの応援合戦など、目を輝かせながら頑張っているちびっ子たちの元気な姿は、とても心を和ませてくれました。また、子どもたち以上に頑張っていたのは、カメラ・ビデオカメラを手にしたお父さんやお母さんたち。子どもの姿を撮影しようとして必死に走り回っていました。私もカメラを手に孫の所に行っただけ、「はい、こっち、こっち」と、親ばかならぬじじばかりを發揮してしまいました。来年の4月は上の孫の入学式です。また楽しみな一大イベントがやってきます。孫がいいですね…

芳